

令和5年度 定期作況報告

(9月20日)

地方独立行政法人
北海道立総合研究機構
中央農業試験場

水稻の部

水田農業部(岩見沢市)

I 気象概況

8月下旬の平均気温は平年より6.0℃高く、降水量は平年の67%、降水日数は平年より1.8日少なく、日照時間は平年の142%であり、高温・少雨・多照に経過した。

9月上旬の平均気温は平年より2.5℃高く、降水量は平年の113%、降水日数は平年より1.1日多く、日照時間は平年の101%であり、高温に経過した。

9月中旬の平均気温は平年より4.4℃高く、降水量は平年の177%、降水日数は平年より0.6日多く、日照時間は平年の67%であり、高温・多雨・寡照に経過した。

8月下旬から9月中旬までの平均気温は平年より4.3℃高く、降水量は平年の120%、降水日数は平年並で、日照時間は平年の104%であった。

気象表

(アメダス岩見沢)

年月	旬	平均気温(℃)			最高気温(℃)			最低気温(℃)			降水量(mm)			降水日数(日)			日照時間(hr)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
8月	下旬	26.5	20.5	6.0	31.8	25.3	6.5	22.7	16.5	6.2	41.0	61.1	△ 20.1	3.0	4.8	△ 1.8	78.1	55.1	23.0
9月	上旬	22.6	20.1	2.5	27.7	25.1	2.6	17.9	15.9	2.0	35.5	31.3	4.2	4.0	2.9	1.1	60.0	59.3	0.7
	中旬	21.6	17.2	4.4	26.2	22.3	3.9	17.6	12.8	4.8	108.0	60.9	47.1	5.0	4.4	0.6	35.9	53.5	△ 17.6
平均(合計)		23.6	19.3	4.3	28.6	24.2	4.4	19.4	15.1	4.3	184.5	153.3	31.2	12.0	12.0	0.0	174.0	167.9	6.1

注1) 気象データはアメダス岩見沢を使用。

注2) 平年値は過去10年間の平均値。

注3) 最高、最低、平均気温は期間内の平均値、降水量、降水日数、日照時間は期間内の積算値。

注4) 降水日数は、24時間降水量が0.5mm以上をカウント

注5) △は減を示す。

II 作況

5月20日 平年並

事由: 播種は平年より2日遅い4月18日に行った。4月第5半旬は低温で経過したものの、出芽期は平年より1日遅い4月23日であった。出芽後は、5月第2～3半旬を除いて高温で経過した。移植は平年より1日早い5月19日に行った。

移植時の苗形質は、草丈が10.8-10.9cmで平年よりやや長く、茎数は1.0本/個体で平年並であった。主稈葉数は3.2-3.5枚で平年よりやや多く、第1葉鞘高は2.6-2.9cmで平年並、100本あたりの地上部乾物重は2.31-2.49gで平年よりやや大きかった。苗の充実度(地上部乾物重/草丈)は0.21-0.23で平年並であった。

以上により、現在の作況は、平年並である。

6月20日 やや良

事由: 移植直後の5月第5半旬は低温であったが、多照で経過したことから活着は良好であった。6月第1半旬は低温寡照に経過し、生育は緩慢となったが、6月第3半旬以降は高温多照に経過し、生育が回復したことから、草丈および主稈葉数はそれぞれ29.2-29.6cm、7.3-7.5枚で平年並、茎数は409-486本/m²で平年を上回った。

以上により、現在の作況は、やや良である。

7月20日 やや良

事由: 6月中旬から7月上旬まで高温に経過し、幼穂形成期は平年より2～3日早く、止葉期は平年より4～5日早かった。主稈葉数は10.1-10.3枚で平年並であったが、草丈および茎数はそれぞれ83.1-85.5cm、717-816本/m²で平年を上回った。

以上により、現在の作況は、やや良である。

8月20日 平年並

事由: 7月下旬から8月中旬にかけて気温は概ね高温に経過した。出穂期は平年より6～7日早く、穂揃日数は平年より1.8日短かった。穂数は631～688本/m²と平年並からやや少なかったが、稈長および穂長は67.0～67.9cm、16.8～17.4cmで平年よりやや長かった。

以上により、現在の作況は、平年並である。

9月20日 不良

事由: 8月下旬まで継続して高温に経過し、成熟期は平年より12-13日早く、登熟日数は平年より5-7日短かった。稔実歩合は91.4-94.1%、登熟歩合は84.6-87.9%と平年並であったが、一穂粒数が37.9-44.5粒と少なく、登熟粒数は22.9-23.8千粒/m²と平年を下回った。

以上により、現在の作況は、不良である。

品種名 苗種	ななつぼし 中苗			ゆめびりか 中苗			
	本年	平年	比較	本年	平年	比較	
年次							
播種期 (月.日)	4.18	4.16	2	4.18	4.16	2	
出芽期 (月.日)	4.23	4.22	1	4.23	4.22	1	
移植期 (月.日)	5.19	5.20	△ 1	5.19	5.20	△ 1	
幼穂形成期 (月.日)	6.28	6.30	△ 2	6.28	7.01	△ 3	
止葉期 (月.日)	7.13	7.17	△ 4	7.13	7.18	△ 5	
出穂期 (月.日)	7.21	7.27	△ 6	7.21	7.28	△ 7	
成熟期 (月.日)	8.31	9.13	△ 13	9.01	9.13	△ 12	
穂揃日数 (日)	5.0	6.8	△ 1.8	5.0	6.8	△ 1.8	
登熟日数 (日)	41	48	△ 7	42	47	△ 5	
生育日数 (日)	135	150	△ 15	136	150	△ 14	
草丈(cm)	移植時	10.8	10.3	0.5	10.9	10.3	0.6
茎数(本/個体)	移植時	1.0	1.0	0.0	1.0	1.0	0.0
主稈葉数(枚)	移植時	3.2	3.1	0.1	3.5	3.3	0.2
第1葉鞘高(cm)	移植時	2.9	2.8	0.1	2.6	2.6	0.0
地上部乾物重(g/100本)	移植時	2.31	2.22	0.09	2.49	2.22	0.27
地上部乾物重/草丈	移植時	0.21	0.22	△ 0.01	0.23	0.22	0.01
草丈 (cm)	6月20日	29.2	28.0	1.2	29.6	28.0	1.6
	7月20日	83.1	67.0	16.1	85.5	66.6	18.9
茎数 (本/m ²)	6月20日	409	310	99	486	369	117
	7月20日	717	674	43	816	787	29
主稈葉数 (枚)	6月20日	7.3	7.0	0.3	7.5	7.2	0.3
	7月20日	10.1	10.1	0.0	10.3	10.5	△ 0.2
	止葉	10.1	10.1	0.0	10.3	10.5	△ 0.2
稈長 (cm)		67.9	65.7	2.2	67.0	64.1	2.9
穂長 (cm)		16.8	15.9	0.9	17.4	16.6	0.8
穂数 (本/m ²)		631	642	△ 11	688	751	△ 63
一穂粒数 (粒/本)		44.5	50.8	△ 6.3	37.9	41.0	△ 3.1
粒数 (千粒/m ²)		28.1	32.6	△ 4.5	26.1	30.8	△ 4.7
稈実歩合 (%)		91.4	94.5	△ 3.1	94.1	93.9	0.2
稈実粒数 (千粒/m ²)		25.7	30.8	△ 5.1	24.6	28.9	△ 4.3
登熟歩合 (%)		84.6	89.0	△ 4.4	87.9	86.8	1.1
登熟粒数 (千粒/m ²)		23.8	29.0	△ 5.2	22.9	26.7	△ 3.8
粒摺歩合 (%)			78.2			75.4	
屑米歩合 (%)			5.2			7.7	
精玄米千粒重 (g)			22.9			23.4	
わら重 (kg/a)			61.6			62.4	
精粒重 (kg/a)			75.1			73.6	
精玄米重 (kg/a)			58.7			55.5	
屑米重 (kg/a)			3.2			4.6	
収量平年比 (%)			100			100	
検査等級			2上			2上	

注1) 平年値は前7ヶ年中、令和4年(最豊)、平成30年(最凶)を除く5ヶ年平均。

注2) 耕種概要

土壌 : 細粒グライ土

施肥 : 高度化成472全層施肥 N-P₂O₅-K₂O=8.0-9.7-6.9 kg/10a

播種量 : 中苗紙筒=160cc/箱

栽植密度 : 33.0×12.0cm 25.3株/m² 4本植え

移植方法 : 手植え

反復 : 2

注3) 登熟歩合は枝梗や芒を取り除いた粒を比重1.06の食塩水によって調査。

注4) 精玄米千粒重、精玄米重および屑米重は水分15%換算値。使用した篩目は1.90mm。

畑作の部

作物G(長沼町)

I 気象概況

令和5年8月下旬～9月中旬までの概況は次のとおりである。

8月
下旬：期間中の2日が猛暑日、5日が真夏日、3日が夏日であり、最高気温、最低気温ともに平年より6℃以上高く、平均気温は平年より5.5℃高かった。降水量は平年の69%とやや少なく、日照時間は平年の150%であった。平年より高温・少雨・多照であった。

9月
上旬：期間中の10日すべてが夏日であり、平均気温は平年より2.9℃高かった。降水量は平年の173%と多く、日照時間は平年の85%であった。平年より高温・多雨・寡照であった。

中旬：期間中の1日が真夏日、6日が夏日であり、最高気温、最低気温ともに平年より4℃以上高く、平均気温は4.8℃高かった。降水量は平年の133%、日照時間は54%であった。平年より高温・寡照であった。

以上、1ヶ月を通じ、平均気温は平年より4.4℃高く、降水量は平年の119%、日照時間は平年の96%であった。

気象表

道総研中央農試(アメダス長沼)

年月	旬	平均気温(℃)			最高気温(℃)			最低気温(℃)			降水量(mm)			降水日数(日)			日照時間(hr)		
		本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較	本年	平年	比較
8月	下旬	25.7	20.2	5.5	30.7	24.7	6.0	22.6	16.4	6.2	38.0	54.9	△ 16.9	4.0	5.0	△ 1.0	77.6	51.8	25.8
9月	上旬	22.7	19.8	2.9	27.6	24.5	3.1	18.5	15.6	2.9	61.5	35.6	25.9	4.0	3.8	0.2	49.3	58.2	△ 8.9
	中旬	21.8	17.0	4.8	26.2	21.9	4.3	18.0	12.6	5.4	77.5	58.1	19.4	4.0	4.2	△ 0.2	27.5	51.4	△ 23.9
平均(合計)		23.4	19.0	4.4	28.2	23.7	4.5	19.7	14.9	4.8	177.0	148.6	28.4	12.0	13.0	△ 1.0	154.4	161.4	△ 7.0

注1) 気象データはアメダス長沼。

注2) 平年値は過去10年間の平均値。

注3) 最高、最低、平均気温は期間内の平均値、降水量、降水日数、日照時間は期間内の積算値。

注4) 降水日数は、24時間降水量が0.5mm以上をカウント。

注5) △は減を示す。

II 作況

1. 秋まき小麦 記載事項なし

2. 春まき小麦 記載事項なし

3. 大豆

6月20日 平年並

事由:播種期は平年より4日早い5月17日であった。播種後降雨があったため順調に出芽し、出芽期は平年より4日早い5月29日であった。主茎長はやや長く、主茎節数は平年並である。

以上により、現在の作況は平年並である。

7月20日 平年並

事由:6月中旬以降高温に経過したことから、開花期は平年より4日早い7月12日であった。主茎長は平年より長い、主茎節数は平年並、分枝数は平年よりやや少ない。

以上により、現在の作況は平年並である。

8月20日 やや良

事由:主茎長は平年より長く、主茎節数は平年並、分枝数は平年よりやや少ないが、期間中高温に経過し、降雨も適度であったことから、着莢数は平年比119%と上回っている。

以上により、現在の作況はやや良である。

9月20日 良

事由:前節同様に、主茎長は平年よりやや長く、主茎節数は平年並、分枝数は平年よりやや少ないが、莢数は平年比119%と上回っている。

以上により、現在の作況は良である。

品種名 項目 \ 年次		トヨムスメ		
		本年	平年	比較
播種期	(月.日)	5.17	5.21	△ 4
出芽期	(月.日)	5.29	6.2	△ 4
開花期	(月.日)	7.12	7.15	△ 3
成熟期	(月.日)		9.29	
主茎長 (cm)	6月20日	11.7	10.6	1.1
	7月20日	56.7	42.5	14.2
	8月20日	59.0	54.7	4.3
	9月20日	59.0	54.5	4.5
	成熟期		54.3	
主茎節数 (節)	6月20日	3.3	3.0	0.3
	7月20日	9.7	9.3	0.4
	8月20日	9.9	9.8	0.1
	9月20日	9.7	9.7	0.0
	成熟期		9.7	
分枝数 (本/株)	7月20日	6.1	6.2	△ 0.1
	8月20日	6.3	6.7	△ 0.4
	9月20日	6.1	6.5	△ 0.4
	成熟期		6.3	
着莢数 (莢/株)	8月20日	90.2	75.6	14.6
	9月20日	80.0	67.2	12.8
	成熟期		68.3	
一莢内粒数			1.83	
子実重 (kg/10a)			406	
百粒重 (g)			38.9	
屑粒率 (%)			2.0	
品質 (等級)			2上	
子実重平年対比 (%)			100	

注) 平年値は前7カ年中、平成30年(最凶)、令和3年(最豊)を除く5カ年平均。

4. 小豆

6月20日作況：平年並

事由：播種期は平年並の5月24日であった。出芽期は平年より3日早い6月7日であった。6月20日現在の主茎長は平年よりやや短く、主茎節数は平年よりやや多い。

以上により、現在の作況は平年並である。

7月20日作況：やや良

事由：期間を通して気温は平年より高く、適度な降水があったことから、生育は早く進んでいる。開花期は平年より8日早い7月18日であった。7月20日現在の主茎長は平年より長く、主茎節数は多く、分枝数はやや多い。

以上により、現在の作況はやや良である。

8月20日作況：平年並

事由：8月20日現在の主茎長は平年よりやや短く、主茎節数は平年よりやや多く、分枝数および着莢数は平年並であった。

以上により、現在の作況は平年並である。

9月20日作況：やや不良

事由：成熟期は平年より14日早い9月5日であった。成熟期における主茎長は平年より長く、主茎節数はやや多く、分枝数はやや少なかった。着莢数は平年より少なく、一莢内粒数は多かった。一部の莢でマメノメイガによる食害が見られる。

以上により、現在の作況はやや不良である。

品種名		エリモシヨウズ		
項目 \ 年次		本年	平年	比較
播種期	(月.日)	5.24	5.24	0
出芽期	(月.日)	6.07	6.10	△ 3
開花期	(月.日)	7.18	7.26	△ 8
成熟期	(月.日)	9.05	9.19	△ 14
主茎長 (cm)	6月20日	3.9	4.7	△ 0.8
	7月20日	20.3	16.9	3.4
	8月20日	55.4	57.9	△ 2.5
	成熟期	65.1	61.1	4.0
主茎節数 (節)	6月20日	2.1	1.4	0.7
	7月20日	10.2	7.3	2.9
	8月20日	16.1	14.8	1.3
	成熟期	16.3	14.5	1.8
分枝数 (本/株)	7月20日	3.0	2.4	0.6
	8月20日	3.9	3.6	0.3
	成熟期	3.2	4.3	△ 1.1
着莢数 (莢/株)	8月20日	43.4	44.0	△ 0.6
	成熟期	41.2	51.8	△ 10.6
一莢内粒数		7.06	6.10	0.96
子実重	(kg/10a)		338	
百粒重	(g)		14.0	
屑粒率	(%)		6.3	
品質	(等級)		3上	
子実重平年対比	(%)		100	

注1) 平年値は前7カ年中、平成29年（最豊）、令和2年（最凶）を除く5カ年平均。

ただし、平成30年は6月20日時点で出芽期に達していなかったため、6月20日の主茎長と分枝数の平年値は平成30年も除いた4カ年平均。

5. ばれいしょ

5月20日作況: 平年並

事由: 本年の根雪終(融雪剤無散布)は平年より8日早い3月23日で、植付期は平年より5日遅い4月28日であった。植付期以降の平均気温は概ね平年並であり、5月20日現在で一部萌芽は始まっているが萌芽期には至っていない。

以上により、現在の作況は平年並である。

6月20日作況: 平年並

事由: 萌芽期は平年より4日遅い5月25日であったが、平均気温は平年並からやや高く経過したことから、開花始は平年より2日遅い6月19日であった。茎数は平年よりやや少ないが、茎長は平年並である。

以上により、現在の作況は平年並である。

7月20日作況: 平年並

事由: 6月下旬以降高温で経過し、適度な降雨もあり、順調に生育している。7月20日現在で茎数はやや少ないが、茎長は平年並である。既に茎葉の黄化が始まっているが、疫病等の主要病害の発生は認められていない。

以上により、現在の作況は平年並である。

8月20日作況: 良

事由: 7月下旬に高温・干ばつ傾向となり、茎葉の黄化は進んだ。8月上旬～中旬は周期的な降雨と引き続き高温で経過したため、枯凋は進んでいるが、一部の茎葉で二次生長が生じていることから、8月20日現在、枯凋期には達していない。株当たりの上いも数は平年並で、上いも平均一個重は平年を上回り、上いも重は平年比109%と平年を上回った。でん粉価は平年をやや下回った。

以上により、現在の作況は良である。

9月20日作況: 良

事由: 枯凋期は平年より13日遅い9月1日であった。枯凋期における株当たりの上いも数は平年よりやや多く、上いも平均一個重は平年並で、上いも重は平年比110%、中以上いも重は平年比111%と多収であった。でん粉価は平年を下回った。塊茎の一部において、こぶ型や萌芽型の二次生長が認められた。

以上により、現在の作況は良である。

項目 \ 年次	品種名	男爵薯		
		本年	平年	比較
植付期	(月.日)	4.28	4.23	5
萌芽期	(月.日)	5.25	5.21	4
開花始	(月.日)	6.19	6.17	2
枯凋期	(月.日)	9.01	8.19	13
茎長	6月20日	37	38	△ 1
(cm)	7月20日	43	45	△ 2
茎数	6月20日	4.2	4.7	△ 0.5
(本/株)	7月20日	4.4	4.8	△ 0.4
8月20日における				
上いも数	(個/株)	12.2	12.1	0.1
上いも平均一個重(g)		93	87	6
上いも重	(kg/10a)	5056	4656	400
でん粉価	(%)	14.6	15.4	△ 0.8
枯凋期における				
上いも数	(個/株)	13.5	12.3	1.2
上いも平均一個重(g)		89	90	△ 1
上いも重	(kg/10a)	5309	4819	490
中以上いも重(kg/10a)		4549	4081	468
でん粉価	(%)	13.9	15.2	△ 1.3
上いも重平年対比 (%)		110	100	10
中以上いも重 "	(%)	111	100	11
でん粉価 "	(%)	91	100	△ 9

注) 平年値は前7か年中、平成30年(最凶)、令和4年(最豊)を除く5か年平均。
ただし、枯凋期は二次成長が多発した令和3年も除く4か年平均。

「上いも」は20g/個以上、「中以上いも」は60g/個以上。